

＜スタッフ紹介＞

役 職	スタッフ名
センター長兼消化器外科医長	古川 陽菜
検査・栄養部門長代理 (管理栄養士)	遠藤 隆之
管理栄養士	7名

＜特色と概要＞

当センターは給食管理、臨床栄養管理を担っている組織であり、NST(栄養委員会)と連携して業務を遂行している。

給食管理の今年度の取り組みとしては①嚥下調整食の見直し、②食器の変更、③妊産婦食のエネルギー設定、④お祝い膳のリニューアルを行った。

- ① 嚥下調整食学会分類に基づいて嚥下調整食1j・2・3・4の提供を行っているが、今年度は嚥下調整食3の見直しを行い、主食をゼリー粥、とろみ粥から選択できるようにした。
- ② 抗がん剤にて免疫力が低下した血液がん患者に対して感染症合併を防ぐため衛生管理に十分配慮した低菌食を提供しているが、使用する食器を強化磁器からレンジ加熱対応素材の食器に変更し、電子レンジでの再加熱ができるようにした。
- ③ 妊産婦食について昼におやつを付けるなどし、栄養量の設定の見直しを行った{妊産婦食2100kcal→2300kcal、妊婦食(初期・中期)1900kcal→2000kcal}。
- ④ 出産後のお祝い膳の料理と食器の見直しを行い、リニューアルを行った。(下記写真参照)

また、栄養管理センターは医師、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、検査技師、管理栄養士で構成される栄養サポートチーム(Nutrition Support Team:NST)の事務局として中心的な役割を担っており、入院中の栄養不良患者への栄養サポートに従事している。今年度の実績について下記に示す。

- ① 2023年度は653件のNST介入を行った(下記表参照)。
- ② 日本栄養治療学会(JSPEN)のNST教育施設として2023年度は院内14名、院外4名に対して研修を行った。研修内容も症例検討の時間を設けるなど見直しを行った。

＜実績＞

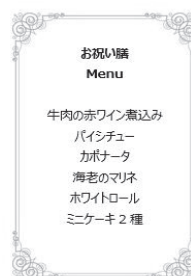
2023年度NST介入件数 653件

月	チームりんくう	チーム救命
4月	16	37
5月	11	28
6月	24	47
7月	24	38
8月	16	38
9月	30	36
10月	22	19
11月	37	29
12月	21	29
1月	22	22
2月	6	38
3月	45	18

＜今年度の反省と来年度への抱負＞

救命診療科病棟以外は1チーム編成でNST活動を行っているため、カンファレンス・回診件数に限界があり、NST介入件数は増加しなかった。

来年度は、充実した栄養サポートが提供できるようNSTの体制の見直しを行う。また、患者の給食満足度アップのため有料特別メニューの新設に取り組む予定である。



リニューアルしたお祝い膳